

保育おおさか

No. 442

平成 24 年 6 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

春の叙勲

瑞宝単光章

関係者の皆様のおかげ

浅井 理江子

あけぼの保育園主任保育士



この度、栄えある章をいただき、身に余る光栄と存じ感謝いたしております。

この章をいただくことができましたのも、保育士という仕事を通じて支えてくださった関係各位・先生方・保護者・子どもたち、すべての方々のおかげと心よりお礼申し上げます。

「子ども子育て新システム」関連三法案が国会に上程されました。消費税10%が可決されれば動き出します。多少の混乱はあっても、保育(養護と教育)の中身は変わらないと受け止めています。

将来の国づくり・人づくりを考えた新システムですが、その第一歩は恒久財源の確保です。大挙して永

田町へ押しかけ厚労省や代議士に陳情合戦を行うという従来の予算編成時に見られた風景が様変わりします。

介護保険システムの子育て版と考えるとよいでしょう。介護保険のように、経産省に後押しされたさまざまな事業者が現れます。企業も活路を見出すことになるでしょう。

私学幼稚園への助成も存続し、当初の幼保一体化は骨抜きになりました。学校教育法に手をつければ膨大な関連法にも及ぶからという理屈を付けてはいますが、文科省に関わる人々からの強い影響があったもの

新システムが施行されても 地域貢献に励む姿を府民に広げる



永野 治男

今年度からスマイルサポーターの養成システムを一本化し、各園3人を目標にして人材育成を図ります。現在の認定者は846人。全国研修レベルの先生方に養成講師陣をお願いしました。大阪らしい先駆的事業と評価され、各園のステータスになることを期待しています。

利潤追求の企業園と異なり、社会福祉法人の保育園が地域貢献に励む園であることを広く府民にご理解いただけることを願っております。理解を広げるためには、各園の日頃の活動が重要です。

今年度も部会活動へのご協力を宜しくお願い申し上げます。

保育部会 部会長 永野 治男

平成24年度 近畿ブロック 保育研究集会 ご案内

平成24年度近畿ブロック保育研究集会が平成24年7月13日(金)～14日(土)、なら100年会館他を会場に開催されます(主催:近畿ブロック保育協議会・奈良県保育協議会)。

本研究集会では①子どもの育ちを保障する②子育てライフを支援する③多様な連携と協働をつくる④子育て文化を育む⑤子育て、子育てを支援する仕組みをつくるという、5つのカテゴリーに属するテーマについて研究活動を深める8つの分科会を開催いたします。

申し込みの締め切りは6月15日(金)までですので、申し込みを済まされていない方は是非お申し込みください。開催要綱についてはすでに各園に配布済みです。参加者申し込みにつきましては名鉄観光サービス株式会社奈良支店にお申し込みください。

6月に入り、夏休みにどこに子どもを連れて行こうかと悩む季節。沖縄や北海道など、遠くの観光地を頭に浮かべるが、さまざまな情報誌や冊子などに目をやると、我が町(市)にある歴史的な場所が特集されていたりする。

私が住む高槻市では、第26代継体天皇のものと考えられている「今城塚古墳」、平安時代初期の『伊勢物語』に登場する芥川などがまず挙げられる。

摂津峡の名前の由来となった阿久刀(あくど)神社は、延喜式神名帳(927年編)に載った以前からあったことは確かで、千年以上の歴史があるようだ。また、戦国時代のキリシタン大名「高山右近」の銅像が、高槻城跡公園にそびえていたりもする。

それぞれの町や市には、歴史的な史跡や有名な場所があると思う。京都・奈良などの大観光地とまではいかなくても、「我が町」をぶらぶら歩いてみるのも観光の良い一つかもしれないと改めて思う。

初夏の風にそよそよと吹かれながら、少し歩いてみたい気持ちになった。(編集委員 M・K)



「選ばれる保育園」のために 適切な対策を——危機管理と危機対応

5月21日、大阪社会福祉指導センターで平成24年度保育部会総会を開催。大阪府議会から浅田均氏、永野孝男氏の各議員をはじめ、大阪府、堺市、高槻市、東大阪市、豊中市の各行政からもご臨席いただき、各保育園からは286人の出席がありました。

〈第1部・式典〉

5年勤続感謝状の対象者626人を代表してココア・ンジュ新家の池田千穂さんに贈呈。育児相談員認定証の授与式では、新たに92人が育児相談員として認定され、大阪府社会福祉協議会の酒井喜正常務理事から、認定者を代表して五ヶ荘保育園の辻美代子さんに交付されました。



〈第2部・記念講演〉

子育て支援のキーパーソンとして、今後より一層のご活躍を期待しています。



協 貴志氏

協貴志氏（株式会社アイギス代表取締役）が、講演。保育園は、地域福祉の重要な役割を担う一方、保育

園特有のリスクを抱えており、事故やトラブル、誤った対応は、保護者や地域の信頼を失い、事業運営に多大の困難をもたらします。事故前の準備としての「危機管理」と、事故後のダメージを最小限に留める「危機

対応」を適切に行う重要性を力説。以下は要旨。

危機管理

① 事故が起こりやすい園・起こりにくい園
事故の人的要素を排除することで、大半の事故は抑制可能。子どもは想定外の動きをすることを保育士が理解し、人数を数える習慣を身に付ける。

② 危機管理に取り組む
生活に慣れ、園児と保育士との緊張感が無くなる6月に事故は多発することを保育士が意識するだけで、事故は抑制できる。

③ 遊具などの点検の頻度
遊具の点検も大切だが、最悪のケースに備え効果的な対策を順位づけて行う。

④ 自然災害時の優先順位
予想可能な災害と予測不可能な災害に分ける。最悪の状況を想定した準備を。

⑤ 子どものチャレンジ精神と危機管理の兼ね合い

危機管理は保育を広げるために行うもの。危機管理能力は保育士の問題発見力。

危機対応

① ダメージを最小限に
子どものダメージは、事故後なるべく早く専門医を受診。保育園へのダメージは、初期段階で受け入れ、謝罪に移る。

② 保護者への対応
外見と話し方に気をつける。保育士の人間性・社会性が大切。挨拶などの日常の積み重ねが保護者の評価に繋がる。

③ 帰宅後にけがに気付いた保護者への対応
保護者の反応は事故前に決まっている。言い訳せず謝罪し、今後の対応策を話す。園のピンチは、信頼獲得のチャンス。事故後の対応方法が評価される。

④ 重大事故が起こった場合
事故前から弁護士、医者、臨床心理士、保険代理店、社会保険労務士、危機対応アドバイザーなどの専門チームをつくっておく。

⑤ 裁判になるか否か
裁判回避率は、相手を思いやる気持ちに比例する。

いやる気持ちに比例する。

23年度の相談件数 4万8621件（平均107件）

● 地域貢献事業推進委員会 ●

平成23年度に上半期と下半期に分けて実施した「地域貢献事業取り組み実態調査」については、それぞれ約450カ園から回答をいただきました。ありがとうございました。

Q 平成23年度、何件の相談を受けましたか？
回答いただいた

園での合計は4万8621件でした。

年間相談件数は1件〜25件の園が、上半期、下半期ともに約200カ園と一番多く、300件を超える園もそれぞれ約10カ園ありました。平均すると、各園で約107件の相談を受けていることになります。

Q 相談内容の内訳は？
「保育・子育て」に関する相談が上半期87%、下半期85%、「保育・子育て以外」の相談が上半期13%、下半期15%でした。

Q 保育・子育て以外の相談の具体的な内容は？

「就労・失業」が268件と一番多く、次いで「虐待」201件、「母子寡婦」「DV」「傷病」「生活保護」の順です。「虐待」では、「自分自身が子どもに虐待しているのでは」という育児不安の内容も含まれています。

Q 問題解決にあたり、どのような関係機関と連携を取りましたか？
「行政（保育・児童担当）」が493件と一番多く、「子ども家庭センター（児童相談所）」298件、「保健所・保健センター」297件となっています。

相談件数を前年度と比較すると、約4000件増でした。相談件数が増えていることから、「保育園における地域貢献事業」の広がりがうかがえます。

豊

中市立南丘保育所の移管を受け平成18

年4月から運営されている南丘保育園は、北大阪急行桃山台駅にほど近い静かで落ち着いた住宅街にあります。今春3月にリニューアルされ、4月から定員160人で新たにスタート。

明るく広い空間の新園舎で、子どもたちがのびのび活動しています。

起伏に富んだ安全なお散歩コースの多い公園が近くにあり、訪れた時はちょうど新緑で、そよ風にはのかな季節の匂いを感じました。

子どもたちが長時間過ごす保育室の環境づくりを特

明るく広い新園舎 安全にのびのび活動

意欲育み体力つくる
築く愛着と信頼関係

豊中市

南丘保育園



保育園の正面玄関

に重視し、心穏やかに過ごせ、安心して遊べる空間づくりを大切にされています。

少人数保育の乳児クラスでは、子ども一人ひとりに丁寧に関わり、愛着と信頼関係を築く保育をされています。

幼児クラスでは、子どもたちの自立に向け、小グループによる保育を工夫されています。

子どもたちが、さまざまなことに取り組む意欲と体力を身に付けることができるように、しっかりと運動を毎朝行っています。

「体力がついた、〇〇が上手、〇〇ができる...」だけで終わらせず、就学までに、友達との関わりを深め、さ



南丘保育園の園舎

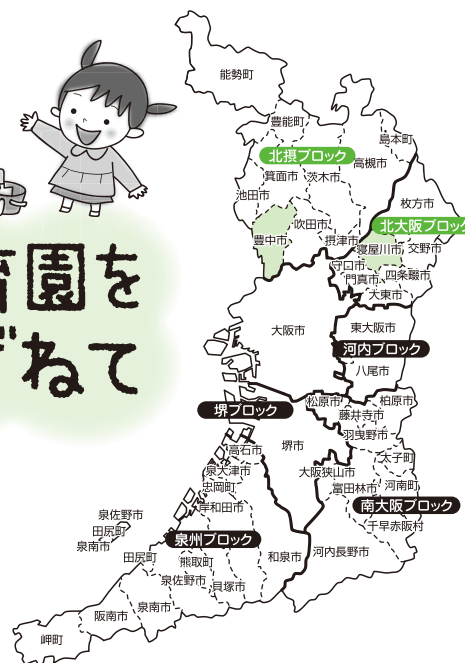
(編集委員 M・H)

さまざまな経験を積み重ねる中で、人との関わり方や社会性を学んでほしい」と、園長の米村清美先生が語っておられました。



保育園を
たずねて

450



ととっても広～い廊下

が新入園児です。

もともと0歳から3歳までの30人定員でしたが、4月からは、0歳から5歳が今までの倍の60人定員となりました。

子育て支援事業として

「休日保育」と「子育て支援センター」を開始。子育て支援はこれまでも行っていました。が、相談や出張を伴うセンター事業や直接契約の休日保育は初めてのことで。職員は増えましたが、さまざまな場面への対応は今後の課題とのことでした。

同法人が運営する高齢者施設の利用者との世代間交流を保育活動に取り入れています。また、カナダ人による運動あそびを取り入れ、「異文化交流」を行っています。言葉の壁を越え、外国



正面入り口にある子育て支援センター

(編集委員 J・H)

公立幼稚園廃園後の広い用地であったため、保育室や園庭に余裕ができ、のびのびと保育ができる環境になりました。

広く余裕ある保育室と園庭
のびのびと保育できる環境

子育て支援と休日保育
世代間・異文化交流も

寝屋川市

きんもくせい保育園

からだづくりが保育の基本 五感・わくわく・ドキドキ

豊富な地域子育て支援メニュー
積極的に充実サポート

富田林市

みどり保育園



全天候型の温水プール

富 田林市の東部にあるみどり保育園は、公立旧園舎の老朽化により社会福祉法人光久福祉会が23年度に施設を整備。施設でまず目を引くのがプールで、子どもたちの体づくり活に活用されています。また、移転地に元々あった木々をそのまま活かして、園庭に大きな木陰を作っています。

行政、保護者会、法人で構成する三者協議会で保育の基本を検討。従来の公立保育所の保育を踏襲しつつも、独自の保育を盛り込んでいます。

からだづくりを保育の基

からだづくりを保育の基
体調不良児対応型の病児・病後児保育など、子どもの保育、保護者支援、地域子育て支援と子育てに関する充実したサポートを実施。さらに、週2回の園庭開放、地域で0・1・2歳児がいる家庭を訪問する育児相談、育児情報紙作成と各家庭への配布、未満児の保育園体験、子育て講座の親子スィミング、月1回の出前保育、地域サークル支援など、多面的に地域と関わる地域支援の取り組みを積極的に実施しています。

公立保育所時代から行っていた和太鼓や民舞、食育の一環としての野菜畑づくりなども予定しています。

(編集委員 H・M)



保育園を たずねて

451



地 下鉄なかもず駅、南海中百舌鳥駅から徒歩7分の便利立地のなないろ保育園は「人、家族、地域、社会に貢献」する保育園を目指し、2011年4月に誕生。

子どもたち一人ひとりの個性(色)を輝かせ、個性(色)が集まり、光り輝く虹(保育園)になるようにという思いが「なないろ」という名前前に込められています。

保育園を初等教育準備の場と位置づけ園児の教育にも重視。子どもたちの興味・関心を大切に伸ばし、次の

ステップへつなげる保育環境を整えておられます。「心と身体の発達」「豊かな人間性を育てる」を目標に、聴覚訓練やリズム遊び運動、即興演奏の音楽を通じたリトミックなどがその一例です。

法人本部のある総合福祉施設「陵東館」や障害者施設「陵東館長曾根」へ出かけて交流。芋掘り、クリスマスコンサートでの合奏披露、ふれあい遊びなどを通じていろいろな方と交流しています。

個性集まり光り輝く虹に 興味・関心を大切に伸ばす

世代間交流と子育て支援
人、家族、地域、社会に貢献

堺市

なないろ保育園



クリスマスコンサート



スウェーデン製大型遊具

体操、リトミック、ピアノ、文字と数、キッズダンス、子育て支援事業としての地域親子教室、母子分離教室なども開催。保護者の多様なニーズや悩みに応えるための課外教室にも力を入れておられます。

屋外プールには子育て支援室が隣接されていて、子どもたちがプールで遊ぶ様子もスタッフが部屋の大きな窓から参観することができます。

なお、園では制服を導入。女子の夏服はセーラーカラーのワンピースです。

(編集委員 K・M)



● 保育園がつくるコミュニティ ●

いろんな人が集まる 地域の行事に積極的に参加

— アルン西鳥取夢学舎 (阪南市) —

新しいコミュニティを
つくる原動力に

東日本大震災以降、生命の尊さや「絆」の大切さが叫ばれ、災害避難にも、復旧復興活動にもコミュニティの力が見直されるようになりました。放送大学の倉沢進教授はコミュニティを構成する要件として、①共同性②地域性③つながり性の三本の柱を唱えています。保育園は正に三本の柱を備えた組織体といえます。

結婚・出産し、子どもを通して初めて出会うコミュニティとしての保育園の存在は、コミュニティ意識の希薄化を防止するとともに、新

しいコミュニティづくりの原動力になると考えられます。社会福祉法人夢らんど・田・アルン西鳥取夢学舎における実践を紹介します。

広がる園・保護者・地域のつながり

阪南市公立保育所の民営化を受け、アルン西鳥取夢学舎開園6年目。公立時代から培われた保護者会の活動が現在も受け継がれ、地域と園との架け橋として尽力されています。

中でもお父さん方が地元とのつながりが深く、地域の畑でじゃがいも掘り、七夕にご近所の方のお家から大きな笹を調達。秋祭り



そうめん流し

伝統のやぐら曳きなど。また、昨年は山から竹を刈り取り、園庭での盛大なそうめん流しの実施に大きな力を発揮してくださいました。最近では市外から転居してきて入園される方も多く、そうした若い世代の保護者にも気軽に声をかけ、さまざまな活動を通して人間関係をづくり、仲間意識の向上につなげています。

親子で楽しむ子育て「アルンの広場」

「アルンの広場」は、同じ年頃のお友達との遊びを親子で楽しむ企画です。月に一度、全5回を1クールで実施。近所に同じ年頃の友達がいなかったり、人見知りをするので他の輪の中に入れなかったりする子ど

もの支援をしています。また「仲間づくりがしたい」「子育ての情報がほしい」などの思いを持った地域の就園前のお母さん方にも利用されています。

園舎2階のホールに集まり、季節を活かした室内や戸外での活動を通して、子どもたちの感性豊かな成長の手助けになる遊びを提供。広く安全な空間の中で、同じ年頃の子どもたちと一緒に過ごし、同年齢の子どもを持つ親同士が仲間となり、育児についての話し合いや励まし合う活動をしています。



アルンの広場

季節の行事を通して小学生と交流

校区の小学校が隣接する利便性を活用し、季節の行事で互に行き来して、小



学校との交流

学生主導の中で、交流を深めています。七夕には低学年の友達と園児が一緒に大きな笹に飾りつけて見事な笹飾りが完成。クリスマスには高学年の友達が手作りの紙芝居。寸劇やダンスなども見せてもらい楽しんでいます。

年間を通して週に1度、水曜日のお昼休みに小学5年生の友達が遊びにきてくれることが一番の楽しみです。親戚、近所の顔見知りの子などさまざまな関わりがある環境の中で、芝生の園庭でサッカーや鬼ごっこなどで汗を流す様子は微笑ましい光景です。初めの頃は、戸惑う園児もいますが、継続する中で世代間の関わりが自然とできるようになる貴重な経験です。

地元の人が一堂に会して
ふれあいフェスタ

中学校校区の子どもたちと保護者、地域の諸団体、学校、保育園、地元の方が一堂に会するふれあいフェスタ（鳥取中学校区地域教育協議会主催）に毎年参加。楽しみながら交流の輪を広げ、相互理解を深めています。

中学校の教室や中庭で、遊びのコーナーや手作り品、食品の販売など、参加団体が各ブースを担当。中学生も数人ずつ交代で手伝い、ふれあい祭りが始まります。昨年度、当園は手作りおもちゃのコーナーを設け、牛乳パックでコマ作りを行いました。在園児は保護者の方とともに自由参加ですが、保護者や兄弟、お爺ちゃん、お婆ちゃんと一緒に参加する様子は、ほのぼのとした光景です。

地域の皆が集まることのできるこの催しにこれからも参加し、温かいコミュニティを育み、地域貢献に少しでも役に立てばと考えています。

(編集委員 T・F)

北摂

保育部会総会と
研修会開催

5月8日、千里阪急ホテルにおいて北摂ブロック保育部会の総会と研修会を開

催。事業報告、決算報告、事業計画、予算案が満場一致で承認後、桐生正幸氏（関西国際大学教授）が「犯罪心理学から見た地域防犯活動」と題して講演。山形県警察本部科学捜査研究所主任研究官として事件現場に



桐生 正幸氏

臨場した経験、犯罪心理学関連の講義や各メディアへの出演、テレビドラマなどの演技指導、地域の防犯活動などに携わる中から実例

を交えて語られました。地域での防犯活動で重要なことは、犯罪者がどんな行動をとるかをよく理解して防犯対策を考えること。さらに、自分たちの町から犯罪者を排除するだけでなく、犯罪者を生み出さないように考えることの重要性を指摘されました。家族、学校、友人といっ



熱心に聞き入る参加者

るなど「暖かな防犯」が大切であると強調されました。講演後、大阪府から「認可保育所の整備状況」「保育関連予算の状況」「地域主権一括法」「子ども子育て新システムに関する疑問点」、高槻市から「機構改革」「総合戦略プラン」「子ども未来部の経営方針」、豊中市から「施設整備に伴う定員増の推移」「公有施設等を活用した保育所設置事例」について報告がありました。

（編集委員 M・K）

事務局紹介



田中 達彦

本年4月1日、ギンガ保育園（社会福祉法人銀河）から出向してまいりました田中達彦と申します。保育部会の事務局を担当させていただきます。

とにかく仕事を覚えて、保育士として働いていた経験を活かし、同じ保育部会の丸橋さんや保育士会の中

久々に日本人として痛快な話題だ！ 石原慎太郎都知事が、4月16日ワシントンで、あの尖閣諸島を国がやらないなら都が買う！日本人が日本の国土を守るため、都が購入する事に。寄付金が5月11日時点で四億七千万を超えている！ええやないか！！

旬

6月は挿し芽の絶好期
梅干し作りで食育活動

日本を造ったのも官僚なら、戦後復興期は良かったが、今は己の先ず保身に！と断罪している。読むと面白いのと同感が入り交じり、毎月の楽しみにしている。

さて、梅雨時の花は紫陽花がいい。土の酸度によって色が七変化するからい

てしまう事になるのだ。また6月は挿し芽の絶好期で観葉植物の植替期でもある。鉢物は二年毎には植替えが必要である。

ボチボチ小梅に続き、梅が出回り始め、おいしい梅干し作りの時期になってきた。給食用は二、三年分を

訂正とお詫び

前号「保育おおさかNo.441」に誤りがありました。次のとおり訂正し、お詫び申し上げます。
6面ブロックだより（北摂）
（誤）6月9日 職員納涼研修
（正）日程未定 職員納涼研修